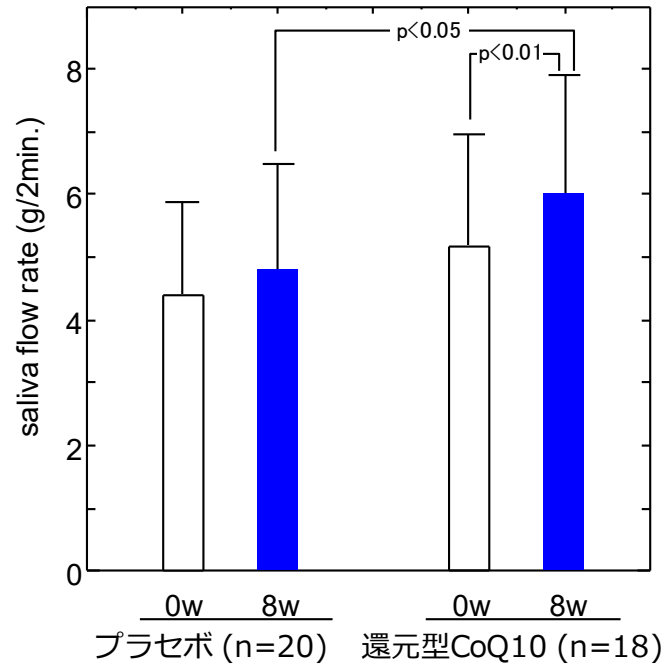
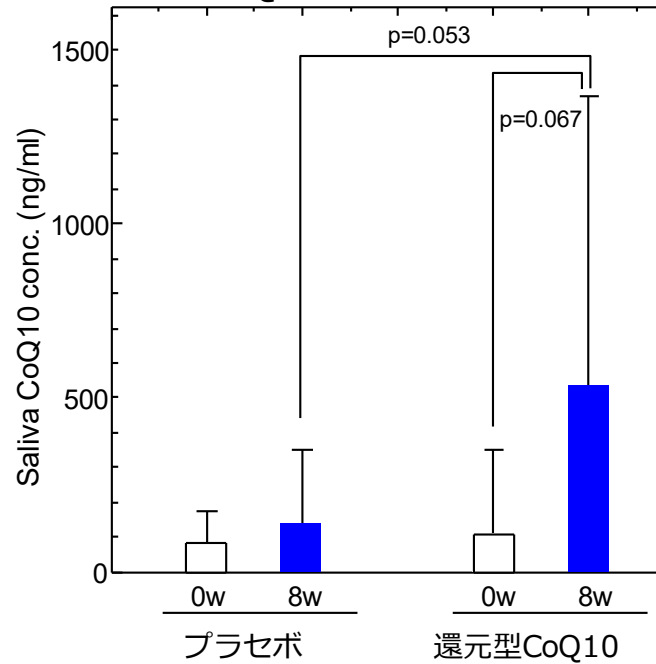


お口の渇きが気になる健常者の唾液分泌を増加

唾液分泌速度(量)



唾液中CoQ10濃度



対象者：
 口の渇きが気になる健常成人男女
 41～64歳（平均49.8歳）
 試験形式：ダブルブラインド
 摂取量・期間：100 mg/日、8週間
 評価：
 唾液分泌速度（量）
 唾液中CoQ10濃度

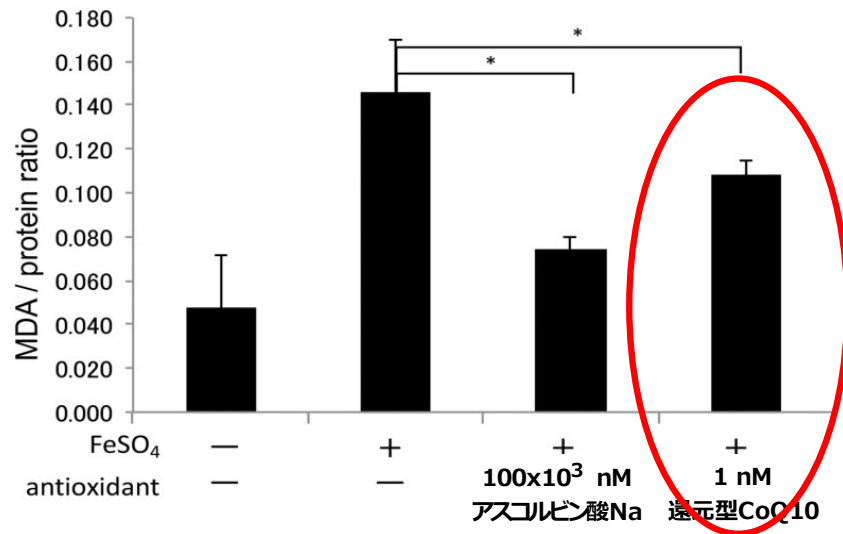
還元型CoQ10摂取により、

- ・（左図）唾液分泌速度（量）（8w）は摂取前（0w）よりも有意に増加し、プラセボ群よりも有意に多かった
- ・（右図）唾液中CoQ10濃度も摂取前やプラセボ群よりも増加傾向だった

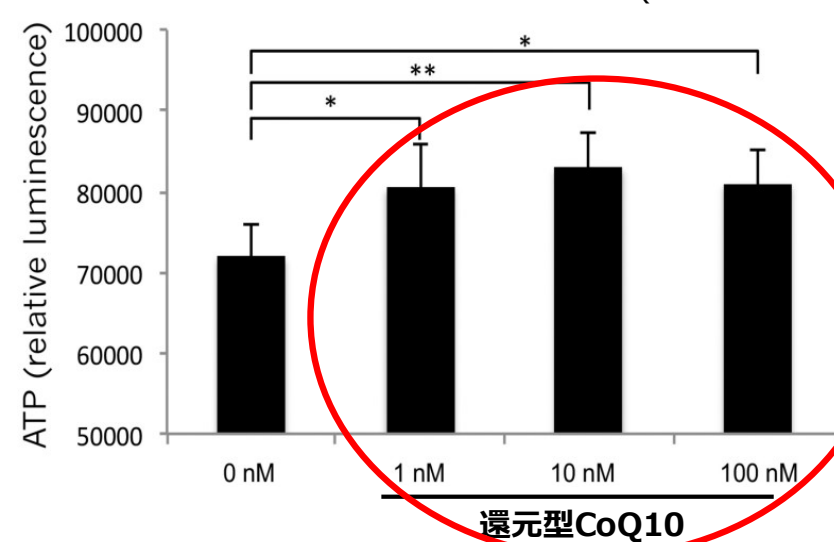
→ 還元型CoQ10の摂取によって口の渇きの軽減が期待できる

唾液分泌増加メカニズム（仮説）

MDA量



ATP量



*, p<0.05; **, p<0.01
(左右のいずれの図も)

ヒト唾液腺細胞を用いた実験

(左図) アスコルビン酸Na (抗酸化剤の一つ) あるいは還元型CoQ10を添加1時間後、硫酸鉄を添加して酸化ストレスを与え、30分後の生成過酸化物量としてMDA (過酸化脂質の一つ) 量を定量した (n=3)
(右図) 還元型CoQ10添加48時間後のエネルギー産生量としてATP量を定量した (n=4)

唾液腺細胞に還元型CoQ10を与えると、

- ・ (左図) 酸化ストレス負荷後の過酸化物生成量は有意に軽減した
- ・ (右図) エネルギー産生量は無添加群 (0 nM) よりも有意に増加した

→還元型CoQ10の唾液分泌増加メカニズムは、
唾液腺細胞での酸化ストレス軽減とエネルギー産生増加によると考えられる